

Japan-Korea Joint Conference on Satellite Communications (JC-SAT2012) 開催報告



電子情報通信学会
衛星通信研究専門委員会委員長
門脇直人
(NICTワイヤレスネットワーク研究所長)

1.概要

JC-SATは、Japan-Korea Joint Conference on Satellite Communicationsとして、2000年より10年以上にわたって電子情報通信学会通信ソサエティ衛星通信研究専門委員会(SAT研)と韓国のKorean Society of Space Technology (KOSST)の共催により、日本と韓国の衛星通信研究者間の情報交換、相互理解の促進を目的として開催されてきた国際会議であり、2012年は韓国側が主幹事となり、10月24、25日に韓国ソウル特別市汝矣島の韓国中小企業会館(Korea federation of small and medium business)(上段の写真)にて開催された。今回はJC-SAT2012開催終了後、同会場で引き続き協催としてNGSCA2012(The 6th International Workshop for Next Generation Satellite Communications & Applications)が開催されたこともあり、衛星通信に関して集中して有益なディスカッションが行われた。



▲門脇委員長のオープニングスピーチ



JC-SAT2012は上記NGSCA2012との協催の関係で開催日数が例年の2日間から1.5日に短縮されたものの、衛星利用分野として注目を集める震災関連セッションが企画されたこともあり韓国側の関心も高く、2件の基調講演と21件の一般技術講演が行われ、参加者は各日ともにおよそ60名と盛況であった。

2.講演について

本会議はJong Won Eun KOSST会長氏と門脇SAT研委員長のオープニングスピーチに続いて2件の基調講演が行われた。

続く一般技術講演は下記に示す5つのセッションで構成され、衛星に関わる幅広い分野にわたって21件の講演が行われた。

Satellite communications Systems and Applications

Satellite Communication Technologies

Satellite System Technologies

Disaster Recovery Operations and Utilization System Safety- I, II

二日間にわたるセッションでは、それぞれの講演について積極的な議論が行われた。

第二日目のクロージングセッションにおいて、JC-SAT優秀論文賞の表彰が行われ、JC-SAT2012の技術委員会により選出された講演2件に対して、表彰状と記念品の授与が行われた。受賞講演は以下の2件である。

Jong Woo Oh氏(Namseoul大学)他、「GIS based Implementation of the Communication Networks Disaster Management Systems for Solar Maximum」

Julian Webber氏(ATR)他、「Performance Investigation of Polarization Multiplexing Satellite System with a Simple Channel Model」



▲Jong Won Eun KOSST会長



▲ 優秀論文賞を受賞したJong Woo Oh 氏(右)



▲ 優秀論文賞を受賞した Julian Webber 氏(右)

3.今後の予定

次回JC-SAT2013については同時期(10月中旬～下旬)に福岡地区で開催することでKOSSTと合意し、日程・開催場所について詳細を調整中である。

今後、開催日程やCall for PaperについてはSAT研ホームページ等を通じてご案内予定である。■